

## 情報科 学習指導案

学校名	県立下妻第二高等学校	対象クラス	*年*組 (**名)
実施日	10月10日(金) 第4校時	指導者	塩野 雅代
実施場所	パソコン室(特別棟1階)	教科書名	最新 社会と情報(実教出版)
単元目標	3章 表現と伝達 3. プrezentation		
単元目標	<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的に関わっている。</li> <li>・他者への評価を意欲的に行い、他者の評価を基に改善に努めている。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションのサブテーマは適切であり、ストーリーがしっかりと構成されている。</li> <li>・計画的に制作を進めている。</li> <li>・適切な改善策や評価の視点を挙げている。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートやプランニングシートに沿ったプレゼンスライドを制作することができる。</li> <li>・画像、音声、アニメーションなど、多様な表現メディアを利用することができます。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション制作の流れを理解している。</li> <li>・プレゼンテーション制作の各段階のポイントを理解している。</li> <li>・画像、音声、動画など多様なメディアを効果的に利用する方法を理解している。</li> <li>・素材を集めるとときに、著作権に配慮している。</li> </ul>		
指導計画 10時間扱い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プrezentation実施の流れについて学び、企画を行う。(1時間)</li> <li>2 情報を図解化して、スライドの作成を練習する。(1時間)</li> <li>3 発表内容を調査・研究し、スライドを作成する。(3時間)</li> <li>4 プrezentationのリハーサルや実施上の留意点、評価について理解する。(1時間)</li> <li>5 班ごとにプレゼンテーションを実施し、相互評価する。(本時)</li> <li>6 班代表によるプレゼンテーションを実施し、質疑応答のマナーを学ぶと共に、評価する。(2時間)</li> <li>7 修学旅行実施後に、事前調査・研究内容を照合する。(1時間)</li> </ol>		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への評価を意欲的に行い、他者の評価を基に改善に努めている。</li> <li>・画像や音声、アニメーションなどの多様な表現メディアを利用することができます。</li> </ul>		
評価の観点	<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表・評価に積極的に関わっている。</li> <li>・他者の評価を基に改善に努め、他者からの評価を自己評価に生かしている。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な表現メディアを利用し、プレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・真摯な態度で聴いているか。</li> </ul>		
準備資料	教科書、ワークシート、スライド、プランニングシート		

授業展開	指導内容	時間 (分)	指導上の留意点
授業前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを起動後、各自のUSBフラッシュメモリから自分のスライドを用意する。</li> <li>・茨城県教育情報ネットワークにログインし、アンケート機能から自己評価ページを開く。</li> <li>・他者への評価用紙を班員分手元に置く。</li> </ul>	5	プレゼンテーションの開始時刻に遅れないように、操作内容を班員同士で確認させるように助言する。
導入①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班内プレゼンテーションを実施することを伝え、授業の流れを説明する。</li> <li>・評価用紙に必要事項を記入する。</li> </ul>	5	プレゼンテーションの手順を確認させ、本時の展開を理解するように助言する。 他者への評価用紙と自己評価ページの入力の視点を再確認するように指示する。
導入②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終リハーサルを行う（各自3分間）。</li> </ul>	5	視線や声の大きさなど、本番を意識したリハーサルになるよう留意させ、主体性を持たせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班内プレゼンテーションの実施、質疑応答も行う。</li> <li>・評価用紙は記入後、手元に置いておく。</li> <li>・プレゼンテーション終了後は、自己評価を入力する。</li> <li>・評価用紙の交換をする。</li> </ul>	30	<p>プレゼンテーションの意味を理解させ、発表する。（表現メディアを利用してプレゼンテーションを行うことができた。）&lt;技能&gt;</p> <p>他者への評価を意欲的に行い、他者の評価を基に改善に努められるよう助言する。</p> <p>（他者の評価を基に改善に努め、他者からの評価を自己評価に生かしている。）&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>相互評価の結果をしっかりと受け止めさせるために、評価用紙は全員のプレゼンテーション終了後に交換する。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者からの評価を読み、自己評価ページの入力を完了させ、班代表者を推薦する。</li> <li>・次時は班代表者プレゼンテーション大会となるので、選ばれた生徒はブラッシュアップして臨むようにと伝える。</li> </ul>	10	自己評価ページには反省だけでなく、達成された部分も入力するように指示することで、作品制作への自信を持たせる。また聞くときに大切なことは何かを考えさせる。さらに、発表者の立場を考えさせられる。